

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

会 議 録	
会議名	第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会会議
日 時	平成29年5月27日（土） 午後3時から午後5時
場 所	北名古屋市役所 西庁舎 4階 403会議室
出席者 及び 欠席者 (敬称略)	出席委員 池山 健次 犬飼 広昭 江口 照美 太田 稔 河口 牧子 佐藤 要 清水 孝司 杉山 晃 寺田 美千子 丹羽 裕美 橋本 豊子 松本 正子 溝口 哲夫 (13名)
	欠席委員 高柳 利清 平松 貴美子 (2名)
	策定委員 教育長 市民健康部長 福祉部長 教育部長 教育部参事 (5名)
	作業部会員 市民健康部次長兼健康課長 教育部次長兼生涯学習課長 教育部副参事兼学校教育課長 教育部スポーツ課長 (4名)
	事務局 経営企画課職員2名
傍聴人	無し
内容	1 教育長あいさつ 2 自己紹介 3 北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会の部会長及び副部会長の選出 4 第2次北名古屋市総合計画基本計画分野別計画（素案）の概要について 5 福祉教育部会の開催日程について 6 その他

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

発言者	審議内容
事務局	<p><b>■開会</b></p> <p>皆様、お疲れのところ、引き続き会議にご出席いただき、ありがとうございます。定刻となりましたので、只今より、第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会を始めさせていただきます。</p> <p>欠席委員の報告ですが、本日、都合により高柳委員、平松委員が欠席との連絡を受けておりますので、ご報告いたします。</p>
教育長	<p><b>1 教育長あいさつ</b></p> <p>次第第1、はじめに教育長の吉田より、ごあいさつを申し上げます。</p> <p>改めまして、皆さん、こんにちは。先ほど担当が申し上げましたが、本当に長い間に渡ってご審議いただいた上に、また部会ということでお時間を頂戴すること、大変、恐縮に思っております。しかし、その分、またいろいろお考えをたくさんご披露していただけると、私どもも素晴らしい部会案となっていくだろうと思っておりますので、積極的なご意見を頂戴したいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今回の総合計画の部会でございますが、今までですと、第1次総合計画の折には、教育部門と福祉部門が別々でございましたが、今回は教育と福祉が合体したといえますか、一緒になって審議をしていく、協議をしていくということでございます。それは、先ほども少し審議会の中でありましたように、横の関係が、結構今までに比べたくさんあるようになりました。そういった問題をやはり解決していくには、合同で協議した方が良く、元々そういうものであったかもしれませんが、一緒に議論した方が良くだろうということで、この部会は2つの分野を一緒に議論するということでございます。子育て、暮らし、文化、教育、健康、福祉、この様な事を一体化して取り組んでいくということです。</p> <p>先ほども少し、審議会の方でも出ておりましたが、例えば教育の分野にしてもコミュニティスクールという、全国的に取り組み始められたこの制度についても、やはり学校だけではできない。地域の方々のいろいろな分野の方々の力をお借りして学校が成り立っていく。それとともに学校の持っている力を地域にも使っていただくと、このような新しい時代といえますか、社会の変化に対応したものの見方、考え方でこの北名古屋市の新しい時代を切り開いていこうという、そういう思いを込められた部会ではないかなと思っておりますので、皆様方の思っいらっしゃる、そういうご意見をどんどん出していただければ、大変うれしく思いますし、いいものが出来上がっていくのではないかなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

事務局	<p><b>2 自己紹介</b></p> <p>ありがとうございました。続きまして、次第をご覧ください。次第2自己紹介ですが、委員の皆様より自己紹介をお願いしたいと存じます。恐縮ですが、当日配布資料の1ページの名簿順でお願いします。</p> <p>(以下、各委員自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。委員の皆様、本当にいろいろご活躍されている方ばかりですのでお話も尽きないと思いますが、また会議の別のところでもいろいろなお話を聞かせていただければと思っておりますので、今後も引き続き、お願いします。</p> <p>では、当日配布資料の2ページをご覧ください。続きまして、職員の自己紹介をさせていただきます。</p> <p>(以下、各職員自己紹介)</p>
事務局	<p><b>3 北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会の部会長及び副部会長の選出</b></p> <p>次第3 北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会の部会長及び副部会長の選出をお願いしたいと存じます。部会の部会長及び副部会長の選出につきましては、審議会条例第7条の規定により、部会に部会長及び副部会長を選出することになっておりますが、いかが取り計らいましょうか。どなたか、ご発言をお願いします。</p>
A 委員	はい。
事務局	A 委員、お願いします。
A 委員	<p>そうそうたるメンバーの中で、私のような若輩者が推薦させていただくというのも恐縮ではございますけど、推薦させていただきます。</p> <p>名簿を見させていただきますと、1番の池山健次様が、教育委員会の委員長で、選べ選べと言っているように浮かび上がってきました。池山さんに部会長をお願いしたらと思います。</p> <p>あと副部会長ですけれども、9番目に社会福祉協議会の会長さんということで、高柳利清さん。本日は残念ながら欠席であり、欠席裁判のようになってしまいますが適任だと思いますので、推薦させていただきたいと思っております。</p>
事務局	ありがとうございました。ただ今、部会長に池山健次委員、副部会長

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

<p>全委員</p>	<p>に高柳委員をというご発言をいただきました。皆様、いかがでしょうか。</p> <p>異議なし。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。異議なしということで、池山健次様、係がご案内いたしますので、部会長の席にお願いします。</p> <p>高柳委員は、本日欠席ですので、電話で確認を取ってまいります。後ほど結果をご報告させていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>(池山委員が、部会長席へ移動。)</p> <p>池山部会長、部会長にご就任いただいたところで、再度、ごあいさつをお願いしたいと存じます。</p>
<p>部会長</p>	<p>ただ今、部会長に選任されました池山でございます。実は今からちょうど10年前に執り行われました、第1次北名古屋市総合計画審議会の教育部会の部会長も、ちょうどその時に教育委員長を務めさせていただいておりました関係もございまして、私がおの任に当たらせていただきました。本当に早いものでそれから10年、あっという間に経ってしまいました。</p> <p>今回は、先ほど教育長のお話にもありましたように、福祉部会と教育部会が一本化されまして、福祉教育部会ということになりました。やはり偶然にも、今年度、教育委員長に再任されました。なぜ、そう長くやられているかと言われてもちょっと私も困りますけど、そういった関係で、また部会長に推挙、選任されましたという風に解釈をいたしております。</p> <p>私のような者が2度もこの重責を務めさせていただくということは、大変僣越なことだと思っておりますが、皆様方のご協力をいただきながら任務を果たしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>私たちの生活の拠点であります、この北名古屋市の今後10年に亘ります長期ビジョン、それも一般住民にとって最も身近な福祉と教育に関わる分野を担当させていただくということで、身の引き締まる思いをいたしております。</p> <p>既に先ほどの全体会において、F委員のご発言、あるいは教育長の最初のごあいさつの中でも、この私共の部会がどういう方向へこれから行くだろうかということ、示唆をされているような感じもいたしております。</p> <p>先ほどの自己紹介などをお聞きしながら、大変、委員の皆さん、論客</p>

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>の方が多いので、私があえて申し上げる必要もありませんけど、とにかく積極的に、前向きに意見を交わし合うぐらいにしていきたいと思っております。</p> <p>それで、これから意見を交わしていく中でいろんな課題とか問題が出てくると思いますけど、これから10年に亘る近未来のことを話し合うわけでもありますので、できるだけ明るく楽しい議論が展開されていったらいいのではないかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上で、ごあいさつとさせていただきます。どうかよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。今、部会長からもお話がありましたとおり、審議会は少し重苦しい雰囲気もございましたが、この福祉教育部会につきましては、なるべく意見が出やすいような雰囲気づくりに努めてまいりますので、委員の皆さんも活発にご意見をいただければと思っております。</p> <p>ご報告となりますが、只今、高柳さんには電話で副部会長に就任いただくことを了承いただきました。次回の会議にて、ごあいさつをさせていただきますので、よろしくお祈いします。</p> <p>では、ここで、池山部会長にご報告します。最初に、傍聴人の確認をさせていただくのですが、この福祉教育部会につきましては傍聴人がございませんでしたので割愛させていただきます。</p> <p>ここからの議事進行は、池山部会長お願いいたします。</p>
部会長	<p>はい。それでは、会議の議事を進行します。</p> <p>まず、議題に入ります前に、部会の進め方について事務局から説明を受けることといたします。</p>
事務局	<p>では、審議の進め方について少し説明をさせていただきます。こちらは聞いていただくだけになります。</p> <p>事前に委員の皆様にご意見を配布させていただいた中でもご案内させていただきましたが、限られた時間の中で効率よくご意見をお伺いし、論点を整理のうえ、より深い審議をお願いしたいと考えております。</p> <p>本日、第1回目の会議につきましては、福祉教育部会の担当する10の施策がございますので、各施策の「現状と課題」を中心に説明させていただきます。その「現状と課題」を踏まえ、柱立てしている主要施策の説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>そのあと、委員の皆様にご意見やお考えを、この場でご発言いただくことが本位ではございますが、時間も限られておりますので、ご意見がある場合には、本日別紙として配布させていただいております様式に</p>

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>て、紙ベースでご提出をお願いしたいと存じます。こちらにつきましては、後ほど再度、説明させていただきます。</p> <p>ご意見をご提出いただいた場合に、第2回会議の6月10日に、委員の皆様からいただいた意見を中心にその対応を説明させていただきながら、更に議論を深め、第3回会議の7月上旬に、この福祉教育部会の担当する各施策の内容をとりまとめていきたいと考えております。審議の進め方について説明させていただきました。よろしく申し上げます。</p>
部会長	<p>只今、事務局から審議の進め方についてご説明をいただきましたけど、この内容につきまして、ご質問やご意見がございましたら、ご発言をいただきたいと思っております。特にございませんか。</p>
全委員	<p>(意見なし)</p>
部会長	<p>特に無いようでございますので、それでは次第に基づき会議を進めさせていただきます。</p>
部会長	<p><b>4 北名古屋市総合計画基本計画分野別計画（素案）の概要について</b></p> <p>次第4の第2次北名古屋市総合計画、基本計画、分野別計画の内容につきまして、事務局より説明を受けることにいたします。</p>
事務局	<p>資料3をご覧ください。1-1健康・医療における「施策がめざすまちの姿」は「すべての市民が健康の維持増進を意識して暮らしています。」となっております、「協働の考え方」は「市民の役割」が、「自らの健康管理に関する知識と意識を高め、自主的に健康づくりに取り組みます。」、また、「地域・団体・事業所等の役割」は、「地域・団体・保健医療機関・保健事業者は、相互に連携し地域の健康づくりを進めます。」となっております。</p> <p>「現状と課題」でございますが、6点ほど記載させていただいております。現在、全国的にも高齢化が問題となっておりますが、本市においても、人口に占める65歳以上の割合は約24%と、いわゆる超高齢社会を迎えており、健康寿命の延伸が非常に重要な課題となっております。そのため、生活習慣病予防に取り組みやすい環境の整備を進め、市民一人ひとりが、各種健診を継続して受診していただいたり、かかりつけの医師と薬剤師を持つことによって、自身の健康等についての意識を高めていただくことが課題となっております。また、母子保健の分野においても、母子の健康づくりや子育て環境を整え、社会全体でサポートしていく必要があります。ちなみに、少子高齢化問題について、少し触れさせていただきますと、本市では、平成27年に、まち・ひと・しご</p>

と創生総合戦略を策定しておりますが、その一環として北名古屋市人口ビジョンを策定しております。その中において、厚生労働省の出している直近の数値では、本市の合計特殊出生率は1.65となっており、全国の数値1.38、愛知県の数値1.51を上回っておりますが、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2015年をピークとして2045年には1.63まで減少します。数値的には現在とあまり変わらないように見えますが、これに現在の人口構成等を当てはめて試算すると、現状85,000人程度であるのに対し、2060年には74,180人と10,800人減少し、この時の高齢化率は約31%となっています。そうした前提に立つと、市としても、あらゆる分野において少子高齢化の影響を受け、全施策の中で、こうした問題をにらみながら総合計画を策定していく必要があると考えております。この施策における主要施策は、①生活習慣の改善に向けた取組の支援、②健康づくりに取り組みやすい環境の充実、③母子の健康づくりの支援、④かかりつけ医・薬剤師の普及、⑤救急医療体制の充実の5つを方針として挙げております。「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」としては、説明は割愛させていただきますが、市民意識調査指標4つ、取組指標1つを掲載しております。

次に、1-2地域福祉を説明します。「施策がめざすまちの姿」は「地域の関係者の連携と住民同士の支えあいにより、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしができています。」となっており、「協働の考え方は、「市民の役割」が「地域の福祉に関心を持ち、ボランティア活動や地域の活動に積極的に参加し、地域で支えあう活動を行います。」、「地域・団体・事業所等の役割」は、地域・団体・福祉関係事業者は、相互に連携して、包括的に地域福祉を充実します。」となっております。

「現状と課題」については、2点掲載してございます。現在、超高齢社会を迎え、国の政策として、高齢者福祉を地域が担っていくという方針が掲げられており、これを支えるために「地域包括ケアシステム」という仕組みを団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、構築・充実することが課題となっております。このシステムは、「高齢者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの5つのサービスを一体的に受けられる支援体制」のことで、この「地域」という言葉で表される担い手は、行政のみならず、医療を提供するかかりつけ医や連携病院、在宅系のサービスを提供する福祉事業者、さらに、老人クラブや自治会、福祉ボランティアグループ、NPO法人等を指しており、これらのさまざまな主体が相互にネットワークを構築し地域を支える担い手として機能していくことが必要となります。また、自治会や福祉ボランティアなどにおける高齢化と新たな人材の確保も課題となっております。主要施策は、①地域で支え合う環

境づくり、②地域の福祉課題への対応の充実、③ボランティア活動の推進となっております。「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」は、市民意識調査指標、取組指標それぞれ2つを挙げております。

続きまして、1-3子育て支援を説明します。「施策がめざすまちの姿」は「保護者と地域が連携し、市全体で子どもをいきいきと健やかに育てています。」となっており、「協働の考え方」は「市民の役割」が「保護者は、子どもを愛情と責任を持って育てます。市民は社会全体で子どもを育てるという意識を持ちます。」、また、「地域・団体・事業所等の役割」は「地域・団体は連携して、子育てを支援し、子どもの成長を見守ります。企業は、仕事と子育てが両立できる働き方ができるようにします。」となっております。「現状と課題」について、「子育て支援」は、とても重要な施策となっており、先ほども少し触れましたが、少子高齢社会が進む中で、地域の持続的な発展を支えるためには、いかに若い世代が子どもを生み、育てていただくかが課題となっております。平成28年10月1日現在における本市の年少人口の割合は15%となっており、県内の市町村の中では比較的高い状態を維持していますが、将来にわたって人口や活力を維持するため、子育てを支える社会的な仕組みを充実させていくことが必要となっております。主要施策としては、①家庭における子育ての支援、②子育てと社会参加の両立支援、③子育てを支えあう地域づくり、④健やかな青少年を育む活動の推進の4つの方針としております。「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」では、市民意識調査指標として2つ、取組指標として3つを挙げております。

次に、1-4高齢者福祉でございますが、「施策がめざすまちの姿」は、「高齢者が積極的に社会参加し、健康でいきがいのある生活を送っています。また、一人ひとりにあった介護サービスや地域住民による支えあいによって、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができます。」となっており、「協働の考え方」は、「市民の役割」として、「高齢者は自らが生きがいを持ち、積極的に社会参加するとともに、元気な高齢者は生活支援の担い手となります。」、また「地域・団体・事業所等の役割」として、「高齢者が地域で活躍できる場を増やすとともに、地域住民・関係団体・事業者等が連携して、見守り、助け合える仕組みの構築に努めます。」としております。「現状と課題」につきましては、本市においては、60歳代後半から70歳代前半の人口が多くなっており、今後後期高齢者の大幅な増加が予想されています。また、2025年には、65歳以上の高齢者の割合は24%となっており、約20,000人となる見込みです。そうした中、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしつづけることができるようにする必要があります。また、皆様、介護保険のことはよくご存知かと思いますが、このまま介護保健



の利用者が増え続ければ、この制度を維持することが困難な状況となる可能性があることから、介護予防に力をいれることで、いかに健康寿命を延ばし、いきいきとした生活を送っていただくか、ということが重要となっております。

また先ほども説明いたしましたが、行政と医療が中心となりながらも、介護保険を使わないで高齢者の地域での生活を維持する仕組みを備えた「地域包括ケアシステム」を機能させていくことが非常に重要となっております。主要施策としては、①高齢者の社会参加の促進、②総合的な介護予防体制の充実、③地域包括ケアシステムの構築となっております。また、「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」として、市民意識調査指標2つ、取組指標3つを挙げております。

続いて、1-5 障害者（児）福祉に参ります。「施策がめざすまちの姿」は、「障害者の社会参加が進み、障害者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会となっております。」となっております。協働の考え方は「市民の役割」が、「障害者に対する理解を深め、ノーマライゼーションのまちづくりに努めます。障害者自身も自らの能力を発揮し、積極的に活動に参加します。」、「地域・団体・事業所等の役割」が「障害者と地域住民が交流できる場をつくとともに、障害者の社会参加や生活を支えるボランティア活動を進めます。」となっております。

「現状と課題」については、障害者差別解消法が2016年に施行され、各分野での差別解消に向けた対策を検討していくことが求められています。障害を持つ人は増加傾向にあり、障害者やその家族のための支援やサービスの充実が必要となっております。主要施策は、①自立に向けた環境づくり、②生活支援の充実としております。「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」は、市民意識調査指標、取組指標各2つずつ設定しております。

続いて、1-6 社会保障に参ります。「施策がめざすまちの姿」は「低所得者の経済的な自立が促進され、生活意欲が向上されています。各種の社会保障制度が健全に運営されています。」となっております。「協働の考え方」は「市民の役割」が「相互扶助の精神を理解し、制度を適正に利用します。」、「地域・団体・事業所等の役割」が、「事業所等は社会保障制度を理解し、制度の安定した運営を支えます。」となっております。この施策には、生活保護や国民健康保険、国民年金、介護保険制度等が含まれておりますが、「現状と課題」につきましても、どの制度にも共通することですが、少子高齢化によってサービスの利用者は増大し、制度を支える人は減っていく状況となっており、制度の効率化や適正な利用の推進による制度の維持が課題となっております。主要施策は、①低所得者の経済的自立の支援、②社会保障の適正な運営となっております。「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」は、市民意識調査

指標、取組指標各2つずつ設定しております。

ここまでで「健康・福祉分野」の施策の説明を終わります。

お疲れのところ申し訳ございませんが、引き続き、「教育・文化分野」の説明をさせていただきます。

2-1 学校教育でございます。「施策がめざすまちの姿」は、「子どもたちに、夢と生き抜く力を育む教育が行われ、次代を担う人材が育っています。」となっており、「協働の考え方」は「市民の役割」が「住んでいる地域の学校運営に積極的に協力します。」、「地域・団体・事業所等の役割」が「学校と連携して、子どもが学び、子どもの可能性を伸ばす環境づくりに努めます。」となっております。「現状と課題」については、グローバル化の進展や経済情勢の変化など、今後も社会情勢が激しく変化していくことが予想されており、長期的な展望に立ち、社会を生き抜く力を誰もが身に付けられるような教育の充実が課題となっております。本市では、先進的な取組として、コミュニティスクールが全小中学校で実施されており、地域ぐるみの教育環境の整備が進められておりますが、そうした取組をさらに進め、継続していく必要があります。また、子どもの貧困や不登校が社会的な問題となっており、学びのセーフティネットを充実することが求められています。主要施策として、①社会を生き抜く力の育成、②未来への飛躍を実現する人材の育成、③学びのセーフティネットの充実、④地域とともにある学校づくりの4つを方針としております。「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」は、市民意識調査指標、取組指標各2つずつ設定しております。

次に、2-2 生涯学習に参ります。「施策がめざすまちの姿」を「すべての市民が自主的な学習活動を活発に行い、生きがいや学習意欲を持ち続けています。家庭、地域、学校、行政等が連携し、青少年が健やかに成長できる環境を形成しています。」となっており、「協働の考え方」は「市民の役割」が「自主的に学習活動や社会活動に取り組みます。また、基本的な生活習慣や社会の基本ルールなどを身に付けさせる家庭教育を実施します。」、「地域・団体・事業所等の役割」が「地域や団体は、市民の学習の成果を地域に還元できる場をつくり、学習意欲を喚起します。教育資源を有する大学や企業等は、学習機会の提供に協力します。また、青少年の見守り活動や交流活動など、地域で健やかに成長できる環境をつくります。」となっております。「現状と課題」として、本市では、生涯学習スキームを策定し、生涯学習を推進する体制を着実に整備してきていますが、社会教育分野にとどまらず、健康・福祉分野との連携を強化し、超高齢化社会を乗り切るという共通の目標のもと、高齢者の学習機会を充実し、居場所づくりを進め、地域社会で活躍できる仕組みの構築が課題となっております。主要施策は、①学習機会の充実、②生涯学習の基盤整備、③読書活動の推進、④家庭教育力の向上となっております。

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

部会長	<p>ります。「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」は、市民意識調査指標、取組指標各2つずつ設定しております。</p> <p>続きまして、2-3文化・芸術についてご説明いたします。「施策がめざすまちの姿」は、「日常生活の中で、文化・芸術活動に親しむ機会が多く、歴史や文化が薫るまちとなっています。」です。また、「協働の考え方」は「市民の役割」が「文化・芸術の鑑賞や活動に関わりを持って、地域に根ざした文化・芸術活動を支えます。」、「地域・団体・事業所等の役割」が「主体的に文化・芸術関連事業やイベントを開催します。」となっています。「現状と課題」は、基本構想の序論「まちの特性」でも掲載しておりますが、本市の文化・芸術の強みとしては、「名古屋芸術大学」と「昭和日常博物館」の愛称で親しまれる歴史民俗資料館が挙げられます。この2つを核として、多様な文化資源が発展して参りました。今後については、さらにその強みを活かす環境を整えながら、多様な資源のネットワーク化が求められています。主要施策といたしましては、①文化・芸術の推進、②歴史民俗資料館の充実・活用、③文化財の保全・活用の3つを掲載しております。「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」は、市民意識調査指標2つ、取組指標1つを設定しております。</p> <p>最終の施策にたどりつきました。2-4スポーツ・レクリエーションをご覧ください。「施策がめざすまちの姿」は、「市民一人ひとりが生涯にわたって自主的・主体的にスポーツやレクリエーション活動に親しみ、健康とふれあいの喜びを感じています。」となっており、「協働の考え方」は「市民の役割」が「自身の能力・体力に応じたスポーツ活動に積極的に参加します。」、「地域・団体・事業所等の役割」が「地域で市民が気軽にスポーツに参加できる環境づくりに努めます。」となっています。「現状と課題」につきましては、超高齢社会を迎え、市民一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じたスポーツを行い、楽しみながら健康増進を図っていくことが重要となります。現状、スポーツ団体の会員数が減少傾向にございますが、市民総スポーツをめざし、さらに環境を整備していくことが求められています。主要施策では、①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、②地域のスポーツ環境の整備、③スポーツ団体等の支援の3つを方針としており、「施策がめざすまちの姿の状況を多角的に測るもの」は、市民意識調査指標2つ、取組指標1つを設定しております。</p> <p>長時間ご清聴いただきありがとうございました。以上で福祉教育部会の所管する施策の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。事務局の説明が終わりました。ご意見、いろいろと今、直感的にお持ちになった方もいらっしゃると思います。後</p>
-----	---

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>ほど説明となりますが、こういった別紙意見書がお手元に配られており、別紙により提出をしていただきたいということになっております。会議時間も経過しておりますが、せっかくの機会でございますので委員の皆様、説明のありました「現状と課題」の内容について何か気になった点、あるいは直感的にちょっと感じたことがありましたら、簡単にご発言いただければと思います。もしご意見がなければ、後日、ペーパーによる意見書を出しますということでも結構でございます。そういうことで進めさせていただいてよろしいですか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
部会長	<p>委員の皆様、何か感じる場所があれば、順番に簡単なコメントをいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
B委員	<p>いろんな施策の中で、やはりボランティアという部分がよく出てきていますが、ただ、今、我々の年代ではそういうボランティアという意識があるものの、その下、要は40代、50代の人もそうですけど、そういう時代じゃなかった、そういう人たちの考え方も含めて、どうやって今後、これを進めるのに必要かという事があると思います。今、小中学校では、それぞれ小学校へボランティアに行ったり等の部分はいろいろあると思うのですが、その空間の世代というものをどのようにしていくかというのが、やはり大事。継続していくためには、この10年先も含めてやっていくには、やはりそういう人たちの力も当然必要だと思います。ただ、今までのそれと、点だけのボランティア意識ではなくて、線で結べるような状態のボランティアのつながりというものがないと、中々こういうものは難しいのではないかと考えてはいますが、それをどうしようといわれると、まだちょっと難しいのですが。</p>
部会長	<p>今の発言に対して、何か担当部署の方でコメントがありますか。</p>
福祉部長	<p>今、ボランティアがなかなかという話で、まさにその通りでございますが、ボランティア団体の関係、主に社会福祉協議会の方で行っていますが、やはり高齢化が進んでおまして、今、言われたとおり、若い世代の方はなかなかボランティアをしにくい時代になっているのかなというところがありますので、また、一緒に良い方法があればなと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。続きまして、次の委員何かございますか。</p>

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

C 委員	<p>一番、ここの部会というのは、やはり少子化と高齢化、一番大事な部門だなと感じています。あと少子化と高齢化というのは、ちょっと似通った所があるなというのを思っていて、やはり貧困の問題でもあり、ここを見てもちょっと似ているなと思って、これはいろいろ連携がとれるかもしれないなと感じました。以上です。</p>
部会長	<p>担当部長、何か。</p>
福祉部長	<p>今、この子育てと高齢者の施策の関連性について話がありました。今までですと、やはり高齢者と子育てということで、セクションを分けて施策として行ってきておりますが、今、言われたとおり、やはり包括的にいろんなことを支援していくという意味ではそういう連携が必要だなということは感じておりますので、また、そういった方向にもっていきけると良いと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。では、D 委員、いかがでしょうか。</p>
D 委員	<p>私、最近、特に思っていることは、たまたま育った環境もそうだったかもしれませんが、子ども、学校教育とか、そういう点について、何か良い方法はないかとか、日夜報道関係見ても思うことがあります。いじめの問題であったり、若くして命を断ったりというニュースを見る度に思うのは、本当にこれからの人がああいうことが起きていいのかな、やはり教育で、もう少しなんとかできないのかなとか、そんなようなことをいつも見ながらため息をついて眺めているんです。やはり原点は教える教育ではないのかなというような気がします。私が育った年代というのは、戦後の年に生まれ、非常に物資、物が無い時期を見ています。それから、急激に良くなっていく姿も見えています。例えば具体的に言うと、私が小学校の頃の鞆は、皆さんにこんなこと言っても分からないかもしれませんが、ズックの鞆でした。2つ下に妹がいました。妹が革の鞆を買ってもらって学校へ通った。そんなようなことをずっといろいろ思い起こしたりしています。よく苦しい時、良くなっていく時、そういう経験がたまたまあるものですから、それを踏まえた上で、途中で、いろいろ世の中もどんどん変わってきましたけど、やっぱりそこでもものを教える教育、そういう点が私、親が先生だったから子供はみんな凄いやとか、先生になれる能力があるなんて、そんなことは全く思っていないけど、そういうことを振り返ってみると、もう少し教育というものが、今の教え方がいい悪いとかそういう議論じゃなくて、教えることが、何か良い方法がないのか、これから模索しながら、そのような事をまとめて計画に何か繁栄できるところはないのか。この委員の連絡をいただい</p>

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>てから、やっぱり何か考えていかなければという中に、どうしても教育というのが頭から離れません。良い方策等があれば聞かせてもらったら、私にも孫がいますから教えてやりたいなという気もします。というようなことを思いながら、今回の福祉教育のメンバーにさせていただいて、ひょっとしたら何かのご縁かなと思いながら、今、ちょっとたわいない意見を申し上げたのですが、お役に立てるような意見が出せるように自分なりに努力しようと思っております。</p>
<p>部会長</p>	<p>教育長、お願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>とても難しいことですが、本当に仰いますように、私ども教える側といますか、大人の側がしっかりとした理念を持っていないと子どもたちも揺れ動いて、時には失敗をしてしまう。そういうことがあると思いますので、私ども大人がやはりしっかりと子どもたちを支え、それを支えるためには、やはりしっかりとした大人にならなければならないという、そういう側面があります。</p> <p>新しく採用する先生方の人間性のことについて、私もそういうことは思います。子どもたち、先生や大人たちが、どうしてそうなのかとと考えた時、それは親とか教育というふうに結論づけるのは簡単です。そうではなくて、やはりそれは社会全体で受け止めるべきことだと思います。そうでなければ、この問題も、今、教育や福祉の問題もやはり受け止めきれないと思います。社会とか教育とか、あるいはもっと小さい先生とかそういうものに小さくしてしまうと、この問題の解決の糸口は見つかりにくくなるのかなと私は思ってます。</p>
<p>部会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。E委員、何かありますか。</p>
<p>E委員</p>	<p>まだ私もちょっと意見がまとまっておりませんが、常々、やはり学校教育といったら子どもたちというのは地域の皆さんで地域の人たちで学校は守っていかなければということは思っております。</p> <p>今、体育協会でいろいろ考えているのは、北名古屋市の子どもたちのために何か運動でも何でもやっていて、「ああ、よかったなあ」と自分たちじゃなくて地域の方たちに教えていただいて、「ああ、こんないことがあった」、学校の先生がおっしゃることは聞かないけど、地域の人たちがクラブに行くと指導すると、その方の意見はよく聞くっていうふうなことを聞くことがよくあります。先生は、正しいことおっしゃってみえるんですが、子どもたちはそれを聞かなくて、コーチで教える方のことはよく聞いて、すごく子どもたちの部活の時の態度が変わってきてよかったという、ある中学校の校長先生のお話を聞いて、「なるほど、</p>

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>これは学校だけに任せてはいけない。子どもたちは地域の皆で、今、北名古屋市は全国的に評価されてみえるコミュニティスクールを先頭に立ってやってみえるから素晴らしいなと思っています。</p> <p>そうやって、地域で子どもたちを育てる、そういう意識を市民全員が持ってくださいと、とてもいいなあと考えております。</p>
部会長	<p>スポーツ課長、何かありませんか。</p>
スポーツ課長	<p>何か地域でということ、今日おみえのスポーツ団体も既に学校との連携事業だとか、また、今年度から少しでも指導者の資格をとっていただくという取り組みを始めております。またレクリエーション協会については、今まで通り、学校等の授業にいろいろ協力をしていただいておりますので、今後、こういった事業を拡充していただいて、スポーツ課としてもご支援をさせていただきたいと考えております。</p>
E 委員	<p>ありがとうございます。スポーツ課のほうからご指導していただいて、体育協会があるわけですので、頑張ってください。</p>
部会長	<p>では、F 委員。</p>
F 委員	<p>元気な人が元気なままですごせるように、いろいろなものやっておりますが、私は120歳まで生きる予定しておりますので、病気になってしまったら医療機関や、その他で助けを求めなくちゃいけないと思うのですが。</p> <p>元気な人がこれから長くずっと元気でいられるようにするための、いろんな施策が出てくると思うんですけど、その中で具体的な細かいものは、ここに書いていないようなものが、もっともっとたくさんいっぱいあると思いますが、私はラジオ体操ずっとやっています。</p> <p>今、北名古屋で、7箇所から夏期ラジオ体操がありますけど、手帳を毎日、判子を押す手帳を配ってるんですが、それが約700枚なんです。その人が手帳を持って、毎日来るとは限りませんが、毎日来るのは夏の大勢の時は4～500人の人が朝集まってやっているといます。</p> <p>その人たちが毎日来て、たとえばそこに来ることによって、僅か1時間のことですけども、そこで人と会っていろんな話をしたり、その後の24時間が非常に気分よくいられるという、いろんな場面でそういうのができればと考えています。</p>

	<p>そこに来ると、いろんな友達からいろんなことを聞いたり、今度はここに参加する、あちらに行くとか、帰りは喫茶店へ行くとか、いろんなことをやりながら非常に楽しい一日がそこで送れるような、そういうものを、もっともっといろんな場所で広げていくような。たとえば公民館。公民館として文化勤労会館と東公民館とあると思うのですが、何か将来、東公民館はそろそろ壊して無くなるような感じを受けますけど、もっと文化活動の中でそういういろんな場所が昼間も夜も使えるところが多く欲しいなと思うんですよね。</p> <p>それが文化勤労会館ですと部屋の数も少ないし、ちょっと使いにくいというのがありますので、そういうものが、もっと使いやすいようにできないか。施設をつくるのは、なかなか難しいかもしれませんが、その施設が上手いかなかったら、いろんな自治会やその他で小さなものがたくさんありますので、それをもっともっと使いやすいようにしていけば利用する人が増えてくると思うんですね。</p> <p>空いているところ、たとえばさかえ荘、何々荘って、高齢者の施設ですけれども、そういうところが何か特定の団体で占められてしまうと他の人が使えない。みんながもっともっと使いやすいようなシステムやそういうものも、これから必要だと思うんですよね。</p> <p>自治会で持っている、公民館やその施設の部分も一緒に使えるようになればいいですし、その他、大人と子どもがもっと一緒にそういう場面でやっていけるようになればいいと思うんですよね。</p> <p>たとえば、小学校で今、ラジオ体操を全然やってないですけども、地域でやっている、子どもたち知らないんですね。だから、学校でラジオ体操でもやるようになれば大人との接点もまたできますし、いろんな部分が子どもから年寄りまで、この地域の中で、いろんなところでいろんな活動が一緒にできるような、そういう施策に、これからだんだん出来てくればいいかなと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>部会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。生涯学習の件ですかね、これは。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい、生涯学習です。東公民館はまだまだ続きますので、一生懸命利用していただければと思います。文化勤労会館も利用度も昨年並みにありますし、また文化の森にしても、最近、ヨガで利用したりとか、そういうことにも開放しておりますので、いろいろな形で利用していただければいいかなというふうに思っています。</p> <p>また、公民館の事業としても学校のほうに出向いて学校との協働でいろいろな伝統芸能の活動をしたりと、そういうようなことも行っておりますので、またさらに公民館あるいは学校、そして地域と連携をとってやっていこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>



第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

部会長	ありがとうございます。
F 委員	もう、ちょっといいですか。一つだけ。
部会長	はい、どうぞ。
F 委員	<p>公民館としていろいろやる場合に、生涯学習でいろんな講座やいろんなものを行っておりますけども、その他にそういうところを普通の民間とか一般の任意団体が、そこを利用してそういう同じようなことをやるように。</p> <p>それをやる場合にそういうPRも一緒にしてもらえようような、何かももっともっとそうすると、広がっていく部分があるかなと思うんですけど、またいろいろ考えておきます。</p>
生涯学習課長	はい、わかりました。また考えていきたいと思っています。
部会長	じゃあ、続きまして、A 委員お願いします。
A 委員	<p>はい。文言的なところで、これは全体に関わることなのですが、表現の仕方が、この「施策がめざすまちの姿」ということで、「なっています」という表現ですよ。ね。「できています」ですとか。</p> <p>たとえば、1-1 だと「すべての市民が健康の維持・増進を意識して暮らしています」。この「めざすまちの姿」という表題と、この中身の「暮らしています」というのが「暮らしています」「何々しています」というまちをめざすということですけども、何かちょっと違和感があって、つながらないという気がします。</p> <p>その次の協働の考え方、「市民の役割として、何々に取り組みます」「事業所等の役割として、何々を進めます」。これだったら、パッとつながるんですが、最初のめざすまちの姿ということで、「何々しています」となると、何かこうつながらないなど、そんなふうに思いましたので、全体の話なんです。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。この表現、今回、初めてこのような状態という表現としており、まちの状態、その時の状態を表したいと思っています。</p> <p>審議会で、ピンク色の資料を使いながら「めざすまちの姿」の説明がありましたが、大元にあるめざすまちの姿は「健康快適都市」。皆さん</p>

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>もだいぶ馴染んでいる言葉だと思えますけども、健康快適都市で、誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまちというのを「めざすまちの姿」として掲げております。</p> <p>その「めざすまちの姿」を実現するためにいろんな施策がある中で、この健康福祉分野の健康・医療のめざすまちの姿を「すべての市民が健康の維持・増進を意識して暮らしています」としてしておりますが、このような状態のまちにしたい、という意味で、こういう表現に統一しています。</p>
A 委員	<p>それはわかります。わかりませんが、わかりにくいということです。</p>
部会長	<p>ご理解、よろしく申し上げます。続きましてG委員、お願いします。</p>
G 委員	<p>今、医療の関係で、北名古屋市では救急患者を受け入れる病院が、1箇所しかないわけです。私の友達も救急で運ばれたんですが、どうしても専門医がいないということで、また、他の病院をたらい回しされたというのが現状です。これを何とか、今の救急病院に専門医を増やしていただけないかなと、私は思うんです。</p> <p>私も10年くらい前に尿管結石で運ばれたのですが、最初は尿管結石じゃない、胃炎だと言われたのです。最後には尿管結石だということになったのですが、治療も違います。そういうことを何とか充実していただけないかなと思います。</p> <p>それと今、各学校で同じクラスの生徒は、同じ能力じゃないわけです。中にはとてもできる子もいる、中にはできない子もいる、ということで置き去りにされるような状態があるわけですね。これを何とか、今、支援学級という学校の中にありますが、これが全部の学校にそういう支援学級がないものですから、なんとかそういうところも作っていただけないかなと思います。</p>
部会長	<p>初めに市民健康部長、お願いします。</p>
市民健康部長	<p>2次救急医療は、済衆館病院になっていますが、言われるように専門医がどうしてもいない時というのは責任もって対応できないということで、他の病院を紹介するという形をとっています。</p> <p>今後の医療体制について、今、言われるように充実できるようには努力していきたいとは考えておりますので、ご理解願います。今の段階は、まだなかなか専門医を全部揃えるというのは難しい状態ですが、今後、できるだけ専門医を揃えるような体制で充実をさせたいと考えており</p>

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

<p>部会長</p>	<p>ますので、ご理解いただきたいです。</p> <p>それでは、教育の関係お願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>まず支援学級のことですが、今現在は全ての小中学校に支援学級がございます。2、3年前までは、なかなか設置できなかったんですけど、県のほうも認めてくれまして、全小中学校に支援学級はあります。</p> <p>ただし、障害によって設置できるケースとできないケース、入れるケースと入れないケースがあります。たとえばちょっと目が不自由だとか、耳が十分聞こえないというケースは、条件が厳しく市町村では設置しにくく受入れが難しい。しかし、北名古屋市においては、難聴の方を受け入れている学校はあります。特別に県が先生を派遣してやれるようになっていきます。しかし、それが全ての学校で行われるとは限りませんが、できるだけそういう対応ができるように、県は努力しています。</p> <p>それからもう一つ、勉強ができないお子さんについては、これも全ての小中学校で、アフタースクールということをやっています。放課後にちょっとわからないことがある生徒は、ここへ来なさいよと。ここで先生が集まって教えているよということで、そういうことは中学校でも小学校の高学年でもやっています。そういう、いわゆる置き去りにしないと今、おっしゃったんですが、私どもも、そういうことがあってはならんと思ひ「学びのセーフティネット」と私どもは大きい概念でいうとそういうものなのですが、そういう体制をつくって対応をしています。</p> <p>しかし、それで十分ではありません。十分ではないのですが、しかし、無いより、ずっといいだろうということで、心がけてそういうことを努めていますし、内容の充実を今後、さらに図っていききたいなということは思っています。</p>
<p>G 委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>部会長</p>	<p>ありがとうございます、続きましてH委員。</p>
<p>H 委員</p>	<p>はい。子どもがいますので、やっぱり気になるのは子育て支援だったり、子どもの医療だったりというのが気になります。やはりお母さんたちの間で、日ごろ話題になることが多いのが、子どもの医療費を補助していただくのが保育園まで、小学校からは何割負担という。それは北名古屋市の周りの市町村は割と全額補助が中学校くらいまでであると聞いています。北名古屋市はそれが無いんですね。それがどうしてかなというのが日ごろ、話題になっていたりするので、一番気になるところです。</p>

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

部会長	<p>では、市民健康部長。</p>
市民健康部長	<p>子ども医療費でございますが、他市町では小中学校、または小学校までと無料化が多く実施されているのが現状です。</p> <p>北名古屋市では、いろんな考え方があるのですが「すべての子どもを無料」という考え方ではなく、それに代わるものとして、その費用を使って、ほかのまちではやっていないような施策を北名古屋市は進めています。</p> <p>一概に医療費だけを比べられると、やはり北名古屋市は子ども医療費、小学生中学生については3分の2、1割負担しているのを今でも市民の方をお願いしている現状です。</p> <p>その代わり子どもたちの放課後の居場所づくりの充実とか、親御さんが安心して働ける環境づくりに力を入れたり、そちらの方に、お金を回しているというのが現状です。</p> <p>ですから、医療費の件もありますが、それ以外の面でどんどん子育てを支援していきたいという考え方でやっていますので、ご理解いただけるとありがたいです。</p> <p>無料にすることは簡単なことですが、やはりその無料にした分、どこかでお金は削らないといけない。今ある子育ての支援をどこかで打ち切ることになりますので、子育て支援の考え方をご理解していただきたいと思っております。</p>
部会長	<p>続きまして、I委員よろしく申し上げます。</p>
I委員	<p>私も子育て支援の部分で仕事をさせていただいていますが、10ページのところで、真ん中の2番です。ファミリーサポートセンター、先ほどもちょっとお伝えしましたが、先ほど犬飼さんがおっしゃられた若い人のボランティアっていう部分で、ファミリーサポートは会員さんは預けたいっていう会員さんは若い方から、また預かるという会員さんは、すごく幅広くいらっしゃいます。</p> <p>今日、ファミリーサポートの事業説明会で、預ける側のお母さんのご意見をお聞きしたのですが、その方は保育園から小学校の子で、3人お子さんがいらっしゃるのですが、いろいろファミリーサポートで預けておられてご意見は「預けてとても助かったりしたので、うちの子たちが大きくなって自分もちょっと手が空いたら、余裕ができれば援助会員でお子さんを預かる側にもなりたいと思っています。」ということをおっしゃっていただけまし。私たちもそういう預ける側から、また行く末は園児を預かる側になっていただけるような働きかけをするといいのかな、と思</p>

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

<p>部会長</p>	<p>いました。以上です。</p>
<p>福祉部長</p>	<p>感想ということなのですが、福祉部長。</p> <p>ファミリーサポートセンターといえば、本当に困ったお母さんたちのために援助を、ボランティアで援助の方々がいろいろやっただけでいます。</p> <p>逆にという言い方はよくないかもしれませんが、例えば今の保育園で待機児童問題があり、行政側でいろんな政策・施策の幅を広げていくと、そういう地域で助け合うことがなくなってしまうということに、私は矛盾を感じています。今の話を聞いても、悩ましいところかなと思っています。</p>
<p>部会長</p>	<p>続きましてJ委員、お願いします。</p>
<p>J委員</p>	<p>一つだけお願いしたいことがあるんですけど。私、健康づくり推進員です。特定健診を受けるようにと度々言われますが、実は、特定健診を受けるために電話をしなければならぬのです。予約を取らなければいけないのですが、なかなかその予約が取れません。時間がかかるし、それで何度も電話しても受けていただけなかったりします。それで受けると言われても、受けていただけないのではないかなと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>市民健康部長、よろしくお願いします。</p>
<p>市民健康部長</p>	<p>はい。今、言われたように特定健診、他の検診も含めてですが、電話予約による健診をお願いしております。それは集団健診の話で、個別健診で病院に行っていたのは、各個人で病院を予約して行っていました。集団健診の予約は電話ですが、電話が殺到するため、努力はしているんですが、回線の本数などの関係でやれないという現状があります。</p> <p>去年、実はどうしても予約が取りたくても取れなかったという方がみえましたので、特定健診について、昨年度予約なしで受けられるように日曜日に開催させていただきました。未受診者、受診してない方を全部ピックアップして、その方に個別で通知を差し上げ、「予約なしでも受けられます。ですから、この時間帯に来てください」という案内をかけた。</p> <p>この案内をかけた結果、やはり午前午後合わせて約80名の方が受けていただけましたので、今、言われたようなことをいろんな方法を考えながら進めております。これ以外にも受診しやすい環境づくりのため、</p>

第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>今、健康課と国保医療課が連携を取りながら進めておりますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>J 委員</p>	<p>あと、もう一つ。とってもいいことですが、タレントさんが乳がんになられた時に、私たちも予約しようと思いましたが結構、早い段階で予約ストップになりました。ですから、そういう人数も増やしていただけるようにお願いしたいと思います。</p>
<p>市民健康部長</p>	<p>はい、わかりました。やはり芸能人の方が乳がんになったり、いろんな病気になると、そこにお客さんが集中するので、その辺は予算の範囲内で、やはりそういう病状がでた時はそれに対応できるようなことも今後、考えていきたいと思っています。言われるように、たくさんの方に受けていただけるように、今後も努力させていただきます。</p>
<p>部会長</p>	<p>それではK委員、お願いします。</p>
<p>K 委員</p>	<p>私、幼児教育のほうなんですけど、3歳児健診のところで、お母さんたちが子育てをしている関係の部分の、この3歳児健診の子育て支援のところで、結局困り感がある子ども、子育てしにくさを感じているお母さんたちの保健師さんとの関わりですね。そのところが何か上手くいっていないような気がします。</p> <p>というのは未就園児教室をすると、お母さんたちは、とりあえずいらっしゃいますが、困り感のお母さんたちが自分の子をどうにかして、どう付き合ったらいいかわからなくて、結局、自分が悪いんだという責任感というか、落ち込みというか、そちらの方になって。周りのお母さんとの関わりがなくなってきている関係で、未就園児教室でお話をさせていただいたお母さんに頑張っているよねって言うとボロボロボロって泣かれるんですね。</p> <p>そうすると、必ず来てくださるのですが、「今度入園したら、先生お願いします。」っていう感じなんです。そうすると、幼稚園の先生と子どもの関係になってしまって、その前の3歳児健診からの1年間だったり何年間のところを、もう少し親サポートというのか、子ども理解だったり、子どもにどう関わったらいいかっていうサポートする保健師さんっていうか、周りの地域の環境というのが何かすごく不足していて、もう3歳の入園の時におむつしてくるのが当たり前の子が、「先生お願いします、幼稚園で取ってください。」っていう環境に今なっているんですよ。保育園の園長先生も、そうおっしゃっていましたが、そういう環境に今はなっているんで、お母さんたちの面倒くささっていう部分が子育ての中で「こんなことができたよ、こんなことやれるようになって</p>

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>た」っていう喜びから愛着につながる感情が育つ場がなくなってきて、幼稚園だったり保育園だったり、受け入れる側が本当に「子どもが、これで大人になったら思いやりが育つのかな。」っていう懸念を、今すごく感じている部分があります</p> <p>この3歳児健診が子育て支援の関係の中で、もう少し温かい支援になっていけないかなと、いう風に思います。人手がいるというのはわかりますが、豊田の子ども子育てのほうを見ていると、その辺がもう少し充実するといいのかなっていうふうに思っています。</p> <p>それから、特別支援の方たちがお見えになった時に、その子の問題だけご覧になるので「あ、お部屋に入れるようになったんですね。」「自分の名前がわかるようになったんですね。」っていう言い方で終わってしまいます。幼稚園の3歳の集団の中で、この子が集団の中において、周りの子どもたちに及ぼすよい影響っていう部分は見逃されてしまいます。視点が違うので「入れるからいいね。」「自分の名前を呼んだ時に、自分振り向けるからいいね。」っていう視点は集団の輪の視点ではないので、そここのところの考え方の違いを最近、すごく感じていて。これをどうもっていくといいのかな。</p> <p>だから、お母さんたちは幼稚園での子どもの姿を知らないで、「先生お願いします」「こんなことができるようになりました。」っていう幼稚園まかせの形に今はちょっととなっているのが、すごく懸念をしています。3歳児健診が重要だって思います、すごく。</p>
部会長	<p>はい。今のコメントに対して、担当部局をお願いします。</p>
健康課長	<p>私は4月から健康課に配属となりましたので、乳幼児健診について関わっておりますが、専門的なこととなりますので、ご意見として紙でご提出いただきましたら、回答させていただいくということでよろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>今の高機能自閉症といいますか発達障害の子どもたちへの対応については、やっぱり先生がおっしゃるように早期発見で早期対応といいますか、早期支援が、とても大切だということなんですけど、なかなかうまくいっていません。</p> <p>もう一つ、新しい状況の中で、このインクルーシブ教育というのも出てまいりました。システムの構築という言葉になってきましたね、ということは、国全体でそういうシステムが出来上がっていません。我々、小中学校でも、今、構築の最中です。</p> <p>だから、実はシステムはできあがってからやっと中身が充実し出すものですから、その間の問題を抱えたご家庭や、もちろん本人はもちろん</p>

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

部会長	<p>ですが、その対応は今、その子どもと接している担任頼りなんです。そこが今、とっても大変な状況で、学校はてんやわんやしています。</p> <p>今、言われることは、国としてもさっき申し上げた、システム化し対応できるようにしていこうという、生涯学習課が生涯学習の理念の中へその取組を入れ込みました。来年ぐらいから、それが施策として表面化してくるだろうと思います。しかし、そういうことも踏まえながら、この案を考えていきたいなと考えています。</p> <p>ありがとうございます。それでは最後になりましたけども、L委員。</p>
L委員	<p>たまたまなのか、この時代がそうなのか、ちょうど学習指導要領が改定されるということで、今後、十年の今まさに考えていかなければならない時期だと思いました。</p> <p>それで、「学校教育」の23ページのところにもありますが、やはり今度の学習指導要領、新しいものを見ますと、英語が一番だなということで、小学校で英語の授業化。今日の新聞なんかを見ても5、6年生だったのが3、4年生もいずれということが出ていました。</p> <p>そうすると今現在、既にALTが派遣されていますが、それでは追いつかない状況がきっと出てくるだろうということが予想されます。</p> <p>そうした場合に考えていかなければいけないのは、行政としてALTを配置するとか、それ以外にやはり市の人材を活用するということが必ず必要になってきます。たまたま本市がコミュニティスクール、学校運営協議会に先進的に取り組んでみえますので、それを使って市内の人材を活用するということが必要になってくるだろうなということを思いました。</p> <p>同時に、私も現場にいるときに感じたことですが、先生たちも研修しなければいけません。授業で扱うための教材そのものが必要になってくると思います。そうした時に、例えば英語に関して言うならば、低学年から英語に親しませるとなると、例えば読み聞かせ絵本。そういったものを学校現場で使えるように、そういったものを確保して入れていくということ、そうすると生涯の中の図書の関係にもなってくるかなと思いますが、そういうところに、そういうものを入れていくと現場としてもそれは使いやすくなるかなというようなことを、今、お聞きしながら、またこれを読ませていただきながら思いました、というのが一点です。</p> <p>もう一点ですが、23ページに「スクール・ソーシャルワーカーを配置する」という文言がここ出ております。もうすでにスクール・ソーシャルワーカー、社会福祉士さんのような人材を配置しようというふうに考えてみえるのかどうかということ、これ読むと配置されるみたいな読み取りができるので、その辺どうなのかなということを、ちょっと疑問</p>



第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

<p>部会長</p>	<p>に感じました。</p> <p>はい、ありがとうございました。教育長、お願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>まずスクール・ソーシャルワーカーのほうは是非導入したいと思っ ていますが、このスクール・ソーシャルワーカーの資格を持った方を探し ているのですが、上手くマッチングしなくて見送りになっています。そ れに近い人は私ども入っていただいて、同じとはいきませんが近い存在 として、いろいろ手助けをしていただいております。</p> <p>それから、英語のことなんですけど、やっぱり今おっしゃいますよう に大変人材が不足しております。実は幸いなことに当地は旧西春町で は、ずっと昔、国際理解教育としてやっていた頃の英語活動、そのころ に地域人材をたくさん活用していました。その文化が今でも残っていま すので、もう一度、その原点に戻って、その時のそういうやり方とかも ありますので、そういうもの、そういう方々のお力添えを得ながら全市 展開ができるように取り組んでいきたいなということを、今、考えてお ります。</p>
<p>L 委員</p>	<p>すみません、もう一点だけ、次回の時で結構なんですけど。実は、う ちの学生の募集を見ていると、どうも生徒数も減っているものですか ら、大学への入学生も減っている。その中で高校の先生と話をする中で 実はこんなことをどこの学校でも言われます。保育希望者が減ってい る、どうして減っているのかっていうことを高校の先生方が掴んでみえ る中で見えるのは、やっぱり保育士の条件の関係で減っているというこ とです。保育士確保という面で本市が何か考えてみえるかどうかについ て、また次回の時に教えていただきたい。</p>
<p>部会長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>皆さん方コメント、一通りお聞きしました。たぶんどなたかの意見が 刺激になって、またこれちょっと言いたいなという方もいらっしゃると思 いますけど、時間の関係もありますので、とりあえず今日は、この辺 りで終了させていただきたいと思います。本当にありがとうございました。</p>
<p>部会長</p>	<p>それでは、事務局から、意見書の書き方について説明をしていただき ます。</p>
<p>事務局</p>	<p>重ねてのお願いとなりますが、次回、6月10日の会議では、この福 祉教育部会の担当する10施策について、あらかじめ論点を整理し、議</p>

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

部会長	<p>論を深めたいと考えております。そのため、ご意見がある場合には、本日配布させていただいた別紙「基本計画 分野別計画に関する意見等について」にて提出をお願いします。</p> <p>また、この「様式」は、メールアドレスを教えていただいた委員の方には、本日データを送付させていただきますので、ご承知おきください。</p> <p>提出期限についてのお願いでございます。期間が短く大変申し訳ありませんが、5月31日（水）までに、経営企画課へご提出をお願いします。なお、提出方法については、メールまたはFAXをお願いします。</p> <p><b>6 その他</b></p> <p>それでは、次第6 その他について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>3点ご案内させていただきます。</p> <p>当日配布資料の4ページの「報告会&amp;まちづくりワークショップ」というタイトルのチラシをご覧ください。</p> <p>市民協働推進事業補助金の報告会が、明日、午後1時から健康ドームで開催されます。この報告会は2部構成となっており、2部では、「まちづくりワークショップ」を開催します。</p> <p>先ほど、施策ごとに「協働の考え方」をご説明させていただきましたが、この協働の考え方は市民の皆さんが納得したものでなければ意味がありません。そのため、このワークショップではこの考え方をもとに市民の役割として何ができるかを考えていただく機会となります。</p> <p>裏面をご覧ください。全7回の予定で、明日が第1回目のキックオフ。第2回目から第6回目までは、分野別でのワークショップとなります。第7回目となる7月23日が最後のまとめの予定です。</p> <p>委員の皆様には、分野に捉われることなく、ご興味がある分野などで、お時間のご都合が付くようでしたらご参加いただきたく、ご案内させていただきます。</p> <p>2点目といたしまして、審議会委員の報酬についてですが、委員の皆様には、日額6,000円を支給させていただきます。振込日に関しましては、会議の開催月の翌月、15日前後を予定しております。本日分として、所得税を引いた5,800円程度を6月15日にご指定の口座に振込予定でございますので、ご確認をお願いします。</p> <p>以上2点です。</p> <p>3点目としまして、7月の会議日程についてでございます。次回の6月10日は午後1時から始めさせていただきますが、7月の会議は、部会のみとなりますので、開始時間は午後1時30分から始めたいと思っております。なお、7月の会議については、本日も提出をお願いしてお</p>

## 第1回北名古屋市総合計画審議会福祉教育部会 会議録

	<p>ります「日程調整確認シート」により、委員の皆さまの出席人数が一番多い日で開催させていただきます。会議日程が決まり次第、早急に連絡させていただきますので、よろしくお願いします。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。ただ今、3点のその他説明がございましたが、これについて何かご質問ございますか。</p>
委員	<p>(質問なし)</p>
部会長	<p>よろしいですか。それでは、特にないようでありますので、大変、長時間に渡り積極的にご協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>以上で、本日の会議を終了致します。第1回審議会については、これで終わりいたします。大変長時間に渡り、ありがとうございました。</p>